

2025年2月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年10月15日

上場会社名 横浜ライト工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 1452 URL <https://www.y-wright.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浜口 伸一
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 石川 勝之 (TEL)045(355)5500
中間発行情報提出予定日 2024年11月29日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期中間期の業績(2024年3月1日~2024年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	1,462	67.4	140	438.2	142	354.9	92	305.2
2024年2月期中間期	873	△ 7.1	26	-	31	681.7	22	-

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	1,965.16	-
2024年2月期中間期	484.94	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	1,840	1,144	62.2
2024年2月期	1,418	1,052	74.2

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 1,144百万円 2024年2月期 1,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	0.00	0.00	0.00
2025年2月期	0.00		
2025年2月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,160	16.2	71	223.0	82	164.1	51	85.7	1,084.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計上の見積りの変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	50,000株	2024年2月期	50,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	2,700株	2024年2月期	2,700株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	47,300株	2024年2月期中間期	47,300株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間は、新型コロナウイルス感染症との共存が進み、経済が復調の兆しが見える一方で、引き続き世界紛争の拡大、利上げ等による円安、そして資材及び物価高騰の加速は止まらず、また各界ともに人材不足の慢性化が顕著になり、経済全般におきましては不安定な状況が続いております。

建設業界におきましても、依然として資材高騰が続く中、本年4月から4週8休の作業所が主となり、利益を大幅に圧迫する要因となっております。

こうした経営環境の中、当社におきましては、受注・売上に関しては工場、物流倉庫、再開発等の大型案件を堅調に獲得することができました。また特許を取得した新工法を用いられる案件が多く、利益に関して材料等の費用を低減化でき大幅増となりました。

新工法につきましては展示会への出展を仙台と東京で行い、大手デベロッパー、スーパーゼネコンから多く問い合わせがあり、今後の新規受注に繋がると期待しております。

このような環境の中、当社の当中間会計期間における経営成績は、売上高は 1,462,160 千円（前年同期比 67.4%増）、営業利益は 140,663 千円（前年同期比 438.2%増）、経常利益は 142,959 千円（前年同期比 354.9%増）、中間純利益は 92,951 千円（前年同期比 305.2%増）となりました。

なお、当社は単一セグメントのため、セグメント別の業績等の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末比 421,652 千円増加して 1,192,629 千円となりました。この主な変動要因は、完成工事未収入金の増加 267,019 千円、受取手形の増加 65,217 千円、現金及び預金の増加 61,967 千円、未成工事支出金の増加 24,326 千円等であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末比 212 千円減少して 647,673 千円となりました。この主な変動要因は、車両運搬具の増加 10,908 千円、機械及び装置の減少 8,131 千円、工具、器具及び備品の減少 1,896 千円等であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末比 345,552 千円増加して 583,874 千円となりました。この主な変動要因は、工事未払金の増加 263,434 千円、未払法人税等の増加 52,593 千円、未払金の増加 13,726 千円等であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末比 16,920 千円減少して 111,474 千円となりました。この変動要因は、繰延税金負債の減少 9,066 千円、長期借入金の減少 7,854 千円であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比 92,809 千円増加して 1,144,954 千円となりました。この主な変動要因は、中間純利益 92,951 千円の計上等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期通期の業績につきましては、2024年4月15日の「2024年2月期 決算短信」で開示いたしました業績予想に現在のところ変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	372,622	434,590
受取手形	76,322	141,539
完成工事未収入金	309,287	576,306
未成工事支出金	4,513	28,840
前払費用	7,305	9,972
その他	3,325	5,780
貸倒引当金	△ 2,400	△ 4,400
流動資産合計	770,976	1,192,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	40,350	39,072
機械及び装置 (純額)	315,797	307,666
車両運搬具 (純額)	14,614	25,522
工具、器具及び備品 (純額)	10,727	8,831
土地	126,945	126,945
有形固定資産合計	508,436	508,038
無形固定資産		
ソフトウェア	2,891	2,252
特許権	705	649
その他	295	295
無形固定資産合計	3,893	3,197
投資その他の資産		
投資有価証券	3,644	3,427
出資金	140	130
長期前払費用	3,577	3,725
保険積立金	96,051	96,579
その他	35,091	35,524
貸倒引当金	△ 2,949	△ 2,949
投資その他の資産合計	135,555	136,437
固定資産合計	647,885	647,673
資産合計	1,418,861	1,840,302

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	168,335	431,769
1年内返済予定の長期借入金	15,708	16,601
未払金	15,696	29,422
未払費用	577	632
未払法人税等	7,949	60,542
預り金	6,462	15,288
賞与引当金	7,907	5,521
その他	15,687	24,097
流動負債合計	238,322	583,874
固定負債		
長期借入金	84,443	76,589
繰延税金負債	43,801	34,735
その他	150	150
固定負債合計	128,394	111,474
負債合計	366,716	695,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,000	33,000
利益剰余金		
利益準備金	1,200	1,200
その他利益剰余金		
別途積立金	20,000	20,000
特別償却準備金	133,339	120,445
繰越利益剰余金	876,830	982,676
利益剰余金合計	1,031,370	1,124,322
自己株式	△ 13,382	△ 13,382
株主資本合計	1,050,987	1,143,939
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,157	1,014
評価・換算差額等合計	1,157	1,014
純資産合計	1,052,145	1,144,954
負債純資産合計	1,418,861	1,840,302

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高		
完成工事高	852,956	1,438,559
その他の売上高	20,576	23,600
売上高合計	873,532	1,462,160
売上原価		
完成工事原価	722,611	1,183,807
その他の売上原価	7,880	7,361
売上原価合計	730,491	1,191,169
売上総利益	143,040	270,991
販売費及び一般管理費	116,905	130,328
営業利益	26,135	140,663
営業外収益		
受取利息	3	12
受取家賃	1,386	1,470
受取保険金	1,017	—
スクラップ売却益	2,349	646
その他	1,228	909
営業外収益合計	5,983	3,037
営業外費用		
支払利息	223	386
支払保証料	18	—
減価償却費	350	347
手形売却損	68	7
その他	32	—
営業外費用合計	693	741
経常利益	31,425	142,959
特別利益		
固定資産売却益	586	—
特別利益合計	586	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前中間純利益	32,012	142,959
法人税、住民税及び事業税	11,500	59,000
法人税等調整額	△ 2,425	△ 8,992
法人税等合計	9,074	50,007
中間純利益	22,937	92,951

（3）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、杭抜き事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。